

奄美海上保安部便り 第79号

- ・第79号は2026年3月から2026年5月までの活動状況などを掲載しております。
- ・奄美海上保安部ホームページはこちら <https://www.kaiho.mlit.go.jp/10kanku/amami/>



酒井国土交通副大臣の奄美海上保安部視察

3月12日、酒井国土交通副大臣が奄美大島に来島され、奄美海上保安部及び巡視船「かいもん」の視察と職員激励が行われました。



海上保安官募集中！

本号の「目指せ、海上保安官！」のコーナーで、海上保安官からのメッセージを掲載しています。「海上保安大学校」、「海上保安学校」への入学をご希望される受験生は是非参考にしてください。

海上保安官採用サイト



<https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>

お問い合わせ先 奄美海上保安部管理課 (TEL 0997-52-5811)

大和村防災会議 ～浮揚式シェルター 奄美大島初導入～

3月2日、大和村防災会議が開催され、奄美大島で初の導入となった「浮揚式シェルター」（特別養護老人ホーム大和の園に設置）の披露と確認が行われました。



浮揚式シェルター



瀬戸内町営定期船「せとなみ」竣工式

3月28日、古仁屋漁港において、瀬戸内町主催による町営定期船「せとなみ」の竣工式（4代目）が開催され、古仁屋海上保安署長が参列しました。



全長 33.12m
総トン数 88ト
旅客定員 50人
主機 610Kw×2基
最大速力 19.3ノット



瀬戸内町長

古仁屋港クリーン作戦 ～わきやなきや きよらさ 海を後世に～

4月19日、古仁屋漁港、清水地区・嘉鉄地区のダイビングスポットにおいて、「瀬戸内町海を守る会（奄美群島SD安全対策協会）」がボランティア活動として、30年前から実施している「古仁屋港クリーン作戦」が開催され、防災関係機関・港湾利用企業・高校生等約140名が参加し、軽トラック約3台分のごみ（飲料缶・びんが大半）が回収されました。



令和8年海開き ～安全祈願～

旧暦の3月3日となる4月19日、ばしゃ山村と大浜海浜公園において、奄美市主催による海開きの神事が開催され、高橋奄美海上部長及び池田保安部次長がそれぞれ参列し、海の安全を祈願しました。



ばしゃ山村



大浜海浜公園



龍北中学校と最後の漂着ごみ分類調査及び海岸清掃

4月24日、龍北中学校（生徒14名、教職員7名）とともに、嘉渡海岸において、海岸清掃及び漂着ごみ分類調査を実施し、約50kgの漂着ごみを回収しました。

また、海上安全教室を実施し、離岸流等海で遊ぶ際の注意点の講習を行いました。

なお、龍北中学校は、学校再編により2027年3月をもって閉校となるとのことで、2001年から始まった本活動は今回が最後の予定です。（2021年に国土交通大臣表彰受賞）



漂着ごみ分別調査



海上安全教室



未来に残そう 青い海！

GW期間中の事件、事故ゼロをめざして

奄美海上保安部、古仁屋海上保安署は、春季大型連休安全推進活動期間（4/25～5/10）にあわせ関係機関と連携し積極的に海難防止活動に取り組み、人身事故、船舶事故ゼロを達成しました。

◇奄美空港での3機関合同啓発活動

4月26日、GW期間中の観光客の海難を防止するため、奄美空港到着ロビーにおいて警察、消防と合同で来島者に対する安全啓発活動を実施しました。

また、宿泊施設等に対して、水難事故防止の協力依頼を行いました。



◇赤木名海岸で海上安全教室

5月3日、赤木名海岸(奄美市笠利町)において、周辺の小学生児童及び父兄52名が参加する「マリンアクティビティ体験教室」が開催され（海上安全指導員「有川 貞好」氏主催）、その中で海上保安部交通課職員による海上安全教室を行い、海で遊ぶ際の注意事項を呼び掛けました。



ペットボトル救助の実践



サーフィン体験教室

◇大島海峡内および焼内湾内、沿岸釣りポイントでの啓発活動

古仁屋海上保安署では、小型旅客船やプレジャーボートへの立入検査に併せ、法令遵守や海難事故防止の呼びかけを行いました。



◇名瀬港フェリーターミナル警戒

奄美海上保安部では、4月28日、5月5日、名瀬港フェリーターミナルにおいて、テロ警戒及び犯罪の未然防止のため警戒業務を行いました。



◇古仁屋港・請島与路島の各フェリーターミナル警戒

古仁屋海上保安署では、5月2、3、5日、各フェリーターミナル等において、警戒業務を実施し、船内の安全確認を行うとともに海難事故防止の呼びかけと学生募集活動を行いました。



名瀬第二地方合同庁舎でハブ講習

ハブの行動が活発になる梅雨時期を迎え、5月12日、名瀬第二地方合同庁舎三階会議室において、名瀬保健所職員を講師に招き、ハブ講習会を開催しました。

ハブの生態や噛まれた後の対処方法について詳しく学ぶことができました。



職場体験学習 ～未来の海上保安官を獲得すべし！～

◇金久中学校生徒の職場体験学習

5月12日、巡視船「あまみ」において、奄美市立金久中学校生徒（83名）の職場体験学習を行いました。池田海上保安部次長による業務概要説明後、船内見学にあわせて巡視船「あまみ」の設備や船内生活等について説明を行いました。



◇古仁屋中学校生徒の職場体験学習

5月12日、13日、古仁屋海上保安署では、瀬戸内町立古仁屋中学校3年生2名に対する職場体験学習を行いました。

体験学習では、監視取締艇「ぱるさあ」による洋上パトロールのほか鑑識体験、要救助者搬送訓練などを実施しました。



洋上パトロール

要救助者搬送訓練

◇名瀬中学校生徒の職場体験学習

5月20日午前中、奄美海上保安部では、奄美市立名瀬中学校3年生男子生徒4名に対する職場体験学習（業務説明、要救助者搬送体験、制圧体験）を行いました。

午後からの体験学習は、奄美南部を震源とする地震発生のため中止となりました。



業務概要説明

要救助者搬送訓練

制圧訓練

✚ 奄美群島排出油等防除協議会奄美支部会員との流出油事故対応訓練

5月27日、奄美群島排出油等防除協議会奄美支部会員の村上建設(株)を主体とした会社から、「フローティングドックからの流出油事故」を想定した訓練への指導協力依頼を受け、警備救難課救難係長による油防除に関する研修を行うとともに、名瀬港内において事故を想定したオイルフェンス展張訓練等を実施しました。



オイルフェンス展張訓練

研修

検討会

巡視艇いそなみ潜水士訓練模様

4月22日、28日、古仁屋海上保安署「巡視艇いそなみ」潜水士は、潜水支援班とともに「監視取締艇ぱるさあ」に乗船し新体制での初訓練を実施しました。



あまみエフエム (77.7MHz) に生出演



◇3月5日、交通課職員があまみエフエムに生出演し、「自船の安全確保3か条」を説明し小型船舶の事故防止を周知するとともに、これから始まるマリンレジャーシーズンの前に、『ウォーターセーフティガイド』の紹介し、海の事故防止をお願いしました。



◇4月2日、交通課と警備救難課の職員があまみエフエムに生出演し、これから始まるGWに向けて、交通課からは「釣り中の事故防止」を、警備救難課からは潮干狩りが盛んとなる時期を迎え、「密漁防止」に関する注意事項の周知を行いました。



◇5月7日、警備救難課職員2名があまみエフエムに生出演し、鹿児島県漁業調整規則に基づいた「いせえび類の採捕禁止期間（5月1日～8月20日）」や体長等の制限について周知を行いました。



マリンレジャーシーズンの到来です。

注意事項を守って奄美の海で楽しく遊ばしましょう！

- ・「子供から目を離さない」
- ・「海ではライフジャケットを着用する」
- ・「一人では海に行かないで複数で行く」
- ・「天気が悪い日は海に行かない」
- ・「体調の悪い日は海に行かない」



©JCGF

急患輸送（1件、1人）

◇巡視船「あまみ」による喜界島からの急患輸送

4月1日1115、鹿児島県から喜界島において「急性虫垂炎」の疑いで、至急手術が必要な患者（30歳男性）の急患搬送要請があり、巡視船「あまみ」を喜界島に急行させ、1445湾港にて、喜界徳洲会病院の医師及び看護師が同乗のうえ患者を大島地区消防組合喜界消防分署から引継ぎ、名瀬港に入港し、1742頃救急車に引継ぎました。その後患者は、鹿児島県立大島病院に搬送されました。



湾港での引継状況



名瀬港での引継状況

海難の発生状況

令和8年3月から5月の間、奄美管内では、人身事故5人（船内事故3人、海浜事故2人）、船舶事故4隻（2件）が発生しました。

◇徳之島土野港荷役作業中船舶での甲板転落事故

3月10日1255頃、平土野港に着岸中のフェリー（2555トン）でコンテナ荷役作業中に、作業員2名が床面からの高さ約3メートルから転落し、負傷する事故が発生しました。

事故者2名（52歳男性、54歳男性）は、コンテナの上でフック付きワイヤーをコンテナに取り付ける際、これが風に煽られ、同ワイヤーに押され、2名ともコンテナから甲板上に落下したものです。

事故者52歳男性は徳之島徳洲会病院に搬送され、臀部、左手甲、両足かかとの打撲と診断され、事故者54歳男性はドクターヘリにて鹿児島県立大島病院に搬送され、左肩脱臼及び骨折、股関節骨折、尾骨の骨折と診断されました。



◇瀬戸内町古仁屋港（瀬久井地区）火災船3隻

3月10日1925頃、海上自衛隊から奄美海上保安部あて「古仁屋港瀬久井地区で係留中の船舶2隻が燃えており、消防が消火活動中」との通報がありました。消防の消火活動により、火災は2010頃、全船鎮火しました。

火災船にはいずれも乗船者はおらず、この火災による怪我人、油の流出はありませんでした。

付近防犯カメラの映像から、火災は1910頃、遊漁船A（3.4トン、9.58メートル）の船尾から発生したことが確認され、その右舷側に係留されていた遊漁船B（1.5トン、8.1メートル）に延焼し、更に遊漁船Bの右舷側に係留されていたプレジャーボートC（5.82メートル）にも延焼したことが判明しました。詳細は調査中です。



◇喜界島早町漁港係留作業中漁船での甲板転落事故

3月12日0909頃、喜界島早町漁港において、同港岸壁に停泊中の他船への横付け係留作業をしていた漁船（17トン、16.62m、3名乗り、沖縄県船籍）の乗組員（56歳、男性、神奈川県在住）が係留作業で使用する防舷物を船橋後方から降ろし、同所から甲板上（約1.5メートル）に降りる際、足を滑らせて転落する事故が発生しました。

事故者は転落後、腰や背中痛みを訴え、0953頃、救急車で喜界島徳洲会病院へ搬送され、検査の結果、胸椎骨折と診断されました。



◇瀬戸内町与路港（与路島）沖ヨット乗揚げ

5月12日1105頃、「与路港の近くでヨット（全長9メートル、エンジン付き、1名乗）が座礁した」との118番通報があり、古仁屋海上保安署は、監視取締艇「ぱるさあ」及び巡視艇「いそなみ」を急行させました。

監視取締艇「ぱるさあ」は0035に現場着し、その後、乗船者（73歳男性）は、0038海上保安協力員から連絡を受けた与路島在住者のプレジャーボートにより救助されました。

乗船者に怪我はなく、体調も問題はなく、乗揚げたヨットからの油漏れもありませんでした。

また、乗揚げたヨットは、巡視艇「いそなみ」潜水士により流出防止措置を行いました。

ヨットは乗船者1名で、4月12日に愛知県の港を出港し、四国、九州を經由し、5月12日に古仁屋港を出港し与路港に入港しようとしていたところ、操船不適切のため与路港の東方の浅瀬に乗揚げ、その後の潮が満ちて流され与路港沖砂浜に乗揚げたものです。



海上保安協力員とは？

公益財団法人海上保安協会では、ボランティアで海上防犯活動や環境保全の啓発活動をしていただける方を海上保安部署の推薦に基づいて「海上保安協力員」に委嘱しています。

「海上保安協力員」の皆様からは、各地域に密着して、海上保安業務の普及活動のほか海での事件事故、環境保護等に関して近隣の海上保安部署へ連絡等の積極的な協力を頂いています。

自己救命策の確保3つの基本



ライフジャケットの常時着用



連絡手段の確保



118番の活用

◇大島郡和泊町国頭海岸素潜り者負傷

5月27日1628、沖永良部消防署から和泊町国頭海岸で素潜りをしていた1名が意識を失ったとの連絡がありました。

事故者（21歳、男性、和泊町在住）は、兄（22歳、男性）とともに、27日1300頃に沖永良部空港の南側の国頭海岸から海へと入水し、素潜り漁を開始しました。

1340頃、事故者が魚を突いて浮上した際、突然意識を失い沈んでいく様子を兄が目撃し、付近の浜辺まで立ち泳ぎで引き揚げ、友人に連絡し、友人から消防に通報があったものです。

事故者及びその兄2名は1704頃、消防隊員に救助され、2名とも沖永良部徳洲会病院へ搬送されました。

事故者については肺水種と診断され、兄については擦過傷と判断されました。



✚ 奄美海上保安部、古仁屋海上保安署幹部紹介

4月15日付けで奄美海上保安部長が交代し新たなメンバーとなりましたのでご紹介します。



たかはし ひでさと

奄美海上保安部長 **高橋 秀聡**

奄美海上保安部長の高橋です。
奄美海上保安部、古仁屋保安署は職員一丸となって奄美群島及び周辺海域の皆様の安全安心のため誠心誠意尽力して参ります。
今後とも「結いの奄美」の精神で、ご支援ご協力の程よろしく
お願い申し上げます！

次長（管理、警救） **池田 栄作**

管理課長 **当田 陽次**

次長（交通） **平原 倫典**

警備救難課長 **林田 康司**

交通課長 **室屋 貞敦**

古仁屋海上保安署長 **尾上 吉男**

次長 **鳥越 公貴**



奄美海上保安部

古仁屋海上保安署



来るぞ台風！ 備えはよいか!?

走錨注意！



台風対策は早めの備えが重要です！
作業中はライフジャケットを着用して自身の安全も守りましょう！

台風海難防止強調運動

南九州海難防止強調運動推進連絡会議

目指せ、海上保安官！



海上保安官になるためには、「海上保安大学校」または「海上保安学校」の入学試験に合格する必要があります。

海上保安官は、巡視船艇などの海上勤務だけでなく、本庁（霞が関）、管区本部（全国11か所）などでの陸上勤務など、様々な業務を行います。

海上保安官に必要な幅広い知識や技能、特殊な業務を行うための専門的な能力を養成するための教育機関として、幹部職員を育成する「海上保安大学校」と現場第一線の職員を育成する「海上保安学校」において必要な知識、技能を身に着けて現場へ赴任することになります。

海上保安大学校は広島県呉市にあり、本科4年（2学年後半から航海、機関、情報通信に分かれる）、専攻科6ヵ月、研修課3ヶ月の計4年9か月の教育を受けます。



海上保安学校は京都府舞鶴市にあり、一般課程（航海、機関、通信、主計、航空整備）は1年間、管制課程は2年間、航空課程は1年間の学校教育の後約2年間の研修を受けます。

どちらも学校という名が付いていますが、入学と同時に国家公務員となり、毎月約20万の給与が支給されます。

両校ともに全寮制で、規則正しい団体生活を通して、海上保安官に必要な正義仁愛の精神を身に着け、リーダーシップ、チームワーク、気力、体力の充実を図っています。



次のページから「現役海上保安官からのメッセージ」を掲載しています。
受験のための準備など役立つ情報が沢山あるのでぜひご覧ください！

現役海上保安官からのメッセージ

これから海上保安官を目指す高校生の皆様のために、奄美海上保安部、古仁屋海上保安署で勤務している若手海上保安官からのメッセージです。

- 1 氏名、年齢、出身高校、現職、入庁年月
- 2 海上保安官を目指したきっかけ
- 3 受験のための準備
- 4 学校の思い出など
- 5 これから海上保安官を目指す高校生の皆様へ一言

- 1 洲鎌 大生、20歳、沖縄県立宮古高等学校、巡視船あまみ機関士補、R7.4 入庁
- 2 中学校時代の職場体験で海上保安庁を訪れ興味を持ったことがきっかけです。
- 3 受験するために専門学校に1年間通い、朝から夜まで勉強しました。特に判断推理に力を入れて勉強しました。
- 4 同じ部屋の同期や先輩との寮生活が一番の楽しい思い出です。
- 5 とても楽しくやりがいのある仕事で毎日充実しています。頑張ってください！

- 1 上村 怜、23歳、宮崎県立宮崎商業高等学校、巡視船あまみ主計士補、R5.4 入庁
- 2 小さい頃から海が好きで、その大好きな海を守りたいと思ったから。
- 3 公務員専門学校に通い、過去問をひたすら解きました。疑問に思ったことは、理解出来るまで先生や友人に質問しました。復習を何度もして理解を深めながら自信をつけました。また、面接が苦手だった為、面接講習会に参加して、会話に対する苦手意識を克服することで、無事合格することができました。
- 4 遠泳訓練です。私は、泳ぐことが出来なかったのですが、仲間の支えがあり、完泳することができました。涙が出るくらい辛いときも、「一緒に頑張ろう」と、皆が言葉をかけてくれました。今も、これから先もずっと大切な仲間です。
- 5 私は、普段は調理業務と事務作業を行っています。乗組員の方々から「美味しかった！」と言われると、とてもやりがいを感じます。
まだまだ、分からないことは、たくさんありますが、日々学び、成長を感じます。
皆さんと一緒に、「私は海上保安官」だと自信を持って言える日を現場で楽しみに待っています！

- 1 渡辺悠斗、19歳、熊本県立熊本西高等学校、巡視船いそなみ航海士補、R7.4入庁
- 2 親の影響で小さい頃から人を助ける仕事をしたいと考えており、水泳が得意だったので、それを活かせる仕事でたくさんの人を助けたいと思い、海上保安学校を受験しました。
- 3 高校時代は部活しかしていなかったため勉強を始めたのは受験する2ヶ月前です。公務員塾の無料講習などは時々参加していました。公務員の先輩や、同じ公務員を目指そうとする同級生などにわからないところは聞くことができるとても有効だと思いました。
- 4 保安学校では、未知の分野の勉強をたくさんしましたが、とてもワクワクするような内容もたくさんありました。また、分隊長をやらせて頂き分隊をまとめることの大変さを実感し、人として成長できたと感じています。
- 5 諦めなければ絶対海上保安官になることができます、焦らず頑張ってください。
将来一緒に働きましょう！

※分隊とは・・・

保安学校の学生寮は5階建てで、各階に8つの部屋があります。各部屋（10～12人の共同生活）は一つの班であり、各階の4部屋（1班～4班）で1つグループを形成しており、そのグループを分隊と呼んでいます。各班には班長、各分隊には分隊長を選任しています。

各分隊対抗で様々な訓練や文化祭等での催し物を行なったりします。

- 1 田畑 旭、24歳、鹿児島県立大島高等学校、巡視船かいもん航海士補、R2.10入庁
- 2 公務員になりたいという思いがあり、10月期の公務員試験で海上保安庁の試験に1番早く受かったのがきっかけです。
- 3 公務員試験の過去問を反復練習しました。毎日6時間程度、過去問で6割以上取れるように意識し勉強しました。
- 4 寮生活はコロナ禍でもあったので不便はたくさんありましたが、それ以上に楽しかったです。同期とのコミュニケーションが1番の楽しい思い出です。
- 5 勉強が大変かもしれませんが、頑張ってください！

高校生の皆様へ

奄美のきれいな海と安全を守る仕事を是非いっしょにやってみませんか！

お問い合わせ先 奄美海上保安部管理課（TEL 0997-52-5811）

海上保安官はさまざまな経験を積みながら、自分の適性や希望に応じてキャリアアップを図ることができ、あらゆる分野のスペシャリストとして活躍する道があります。



特別警備隊



機動防除隊



機動救難士



特殊救難隊



船舶工務官



武器技術官



南極地域観測隊



国際捜査官



ソマリア周辺海域派遣捜査隊



試験研究官



鑑識官



情報処理官



運用管制官



音楽隊



教育機関教官



海上保安官採用サイト

<https://www.kaiho.mlit.go.jp/recruitment/>